

「JENESYS」2023年度中国高校生訪日団の記録

1. プログラム概要

【目的】

中国教育部が派遣した「JENESYS」2023年度中国高校生訪日団計90名が2023年10月15日（日）～10月21日（土）の日程で来日しました。

本事業は、中国の高校生を訪日招聘し、東京都・山形県・愛知県・岐阜県・宮崎県を訪問し、テーマ「文化」に関するセミナーや視察・参観、日本の高校生との交流やホームビジット、日本の経済・社会・文化・歴史等に関する視察・体験プログラム等の経験を通じ、対日理解を深め、日本と両地域の更なる関係強化を目的として、本交流を実施しました。

【参加者】

中国の高校生 81名、団長、事務局等 9名 計 90名
第1分団 陝西省 34名
第2分団 広東省 32名
第3分団 北京市、青海省 24名

【訪問地】

第1分団 東京都・山形県
第2分団 東京都・愛知県・岐阜県
第3分団 東京都・宮崎県

【日程】

■招へいプログラム：テーマ「文化」

2023年10月15日（日）～10月21日（土）6泊7日

■招へいプログラム：

10月15日（日） 東京国際（羽田）空港より入国、来日

10月16日（月） 【講義】「国内外からみる日本の文化・魅力について」

講師：一般社団法人インバウンドビジネス協会代表理事 上川 健太郎

講義概略：日本と中国の違いを団員の考えをヒアリングも含めながら、日本のコミュニケーションの考え方でもある「利他の精神～他に良かれし～」を中心に講義

【文化体験】角川武蔵野ミュージアム

ワークショップ：武蔵野坐令和神社にて形代流し体験と、神社・参拝時方法に

関してレクチャー

歓迎会

10月17日（火）～10月20日（金）

3つの分団に分かれ、第1分団は山形県、第2分団は愛知県・岐阜県、第3分団は宮崎県を訪問。

地方プログラム終了後、10月20日に東京へ移動

（1）第1分団：山形県

【視察・参観】立石寺（山寺）、山寺芭蕉記念館

【表敬・交流】最上郡田舎体験塾つのかわの里（農業体験、郷土料理づくり）

【学校交流】山形県立山形西高等学校

【文化体験】温泉体験

（2）第2分団：愛知県・岐阜県

【視察・参観】トヨタ産業技術記念館、長良川うかいミュージアムと鶯飼の里

【表敬・交流】馬籠館（馬籠地区プログラム/街並み散策・五平餅づくり）

【学校交流】岐阜県立岐阜総合学園高等学校

【文化体験】刃物屋三秀 関刃物ミュージアム（日本刀鍛冶鍛錬見学とミニはさみ組立体験）、
温泉体験

（3）第3分団：宮崎県

【視察・参観】綾ユネスコエコパーク散策、青島神社・鬼の洗濯板

【表敬・交流】えびの市飯野地区ホームビジット（各家庭体験、昼食づくり）

【学校交流】学校法人日章学園日章学園高等学校

【文化体験】温泉体験

10月20日（金） 日本科学未来館

歓送報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

10月21日（土） 東京国際（羽田）空港より出国

2. 記録写真 <全体行程>



2023年10月16日【講義】
「国内外からみる日本の文化・魅力について」
一般社団法人インバウンドビジネス協会 上川
健太郎 代表理事による講義



2023年10月16日【文化体験】
「角川武蔵野ミュージアム」
武蔵野坐令和神社参拝前のレクチャー



2023年10月16日「歓迎会」
団長、陝西省教育庁 趙昶葆 副庁長 による
挨拶



2023年10月16日「歓迎会」
中華人民共和国駐日本国大使館 王琳 公使参
事官による乾杯挨拶



2023年10月20日「歓送報告会」
秘書長、中国教育国際交流協会 周立東 副処長
による総括



2023年10月20日「歓送報告会」
団員による感想発表

<第1分団 訪問地：山形県>



2023年10月17日【視察・参観】
立石寺（山寺）参観



2023年10月17日【視察・参観】
山寺芭蕉記念館にてボランティアスタッフより展示案内



2023年10月18日【表敬・交流】
最上郡田舎体験塾つのかわの里訪問し、農業体験と郷土料理（芋煮）作り



2023年10月19日【学校交流】
山形西高等学校訪問、交流



2023年10月19日【学校交流】
山形西高等学校学生と一緒に箏曲体験

<第2分団 訪問地：愛知県・岐阜県>



2023年10月17日【文化体験】
刃物屋三秀関刃物ミュージアムにて日本刀鍛冶
鍛錬見学



2023年10月18日【視察・参観】
長良川うかいミュージアムと鵜飼の里参観



2023年10月18日【学校交流】
岐阜総合学園高等学校訪問、交流



2023年10月18日【学校交流】
岐阜総合学園高等学校学生と一緒に和太鼓体験



2023年10月19日【表敬・交流】
馬籠地区体験プログラムにて五平餅づくり



2023年10月19日【表敬・交流】
馬籠地区体験プログラムにて街並み散策

<第3分団 訪問地：宮崎県>



2023年10月17日【視察・参観】
綾ユネスコエコパーク参観



2023年10月18日【表敬・交流】
えびの市飯野地区ホームビジット



2023年10月18日【表敬・交流】
えびの市飯野地区ホームビジット



2023年10月19日【学校交流】
日章学園高等学校学生と一緒に着付け体験



2023年10月19日【学校交流】
日章学園高等学校訪問、交流

3. 参加者の感想（抜粋）

◆日本の街はいつもきれいで、ゴミ箱はほとんど見当たりません。日本人の「他人に迷惑をかけない」という考えから、ポイ捨ては清掃員に迷惑がかかるため、ゴミを放置せずに持ち帰ることにしました。

日本人は自発的能動性がとても高く、山形西高校を訪問した際には素晴らしいもてなしを受けたことで感じました。交流中、ランチ、英語授業、家庭授業、古筝、生け花などを体験しましたが、これらはすべて生徒たちが自ら企画したもので、衝撃と感動を覚えました。またスイートポテトの作り方やお茶の点て方、古筝の弾き方、花の生け方など、これまで経験したことのないアクティビティを教えていただきました。今回の日本訪問がなかったら、決して一生、出会うことはないと思います。こうした活動は、情操を養い、技能を豊かにし、文化をより良く継承する上で非常に効果的であることに値すると思えました。

◆日本には優しい人がたくさんいます。例えば、ホテルで朝食をとっているとき、ある老夫婦が私たちに隣に座るように温かく誘ってくれました。

日本の多くの場所は中国に非常に似ています。例えば、私たちが訪れた馬龍地域の美しい自然風景は、私の故郷である広東省とよく似ており、親近感を覚えました。また、地元の観光開発の経験を故郷に持ち帰ることができました。

日本の一部のテクノロジー製品は中国のものと同じくらい便利ですが、日本での支払い方法は私にとっては快適ではありません。日本の経済・貿易活動は非常に盛んですが、支払い方法としては依然として現金が一般的であり、大小さまざまな硬貨が流通して、不便に感じます。スキャンコード決済がもっと普及すれば良いです。

中国と日本は協力して伝統文化を促進し、継承することができます。近代化の進展に伴い、中国人や日本人も伝統文化に対する意識が希薄になっています。中国と日本は両国とも豊かな文化遺産を持ち、文化の促進と継承において豊富な経験を持っています。文化体験の交流と協力がもっとできればいいと思います。

◆異なる文化環境の人々と深くコミュニケーションすると、言葉がコミュニケーションの壁と感じますが、温かさや親しみはかけがえのない繋ぎとなります。文化交流は過去を継承し、今を栄え続けます。私たちは足で日本列島の広さを測り、文化の温度を細胞まで感じました。

思い出を大切に、何度も思い出していきたいと思います。同じ月、同じ太平洋、同じ大切な感動、今この瞬間、私たちは繋がっていて、色褪せない笑顔が心に溶け込みました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆今回の交流活動を通じて、なかなか体験できないようなことを経験できました。中国での生活を直接聞くことができたことです。インターネットで調べて得られる情報だけでなく、細かなところまで教えてくれたので、中国の生活の仕方に共感できる場所や興味を持つきっかけになり、とても良い交流ができました。私たちと仲良くしたいという気持ちがとても伝わり、嬉しくなりました。中国の高校生たちにも、私たちが交流を楽しみにしていたことや、歓迎の気持ちが伝われば良いなと思います。

◆ 中国と日本、国は違うけれど同じ同世代の学生だということを実感したことが、今回の1番の気づきでした。今まで海外の方と関わったことが無く、あの国の人の性格はこんな感じだろうなという、固定概念がありました。しかし実際に会ってみると好きなものに対する反応が私たちと同じだったり、授業や部活など見慣れないものに興味を示したりと、私のイメージと少し違っていました。

住んでいる国が違って、文化が違って、今回のように関われる機会があることが素敵だと思いました。

◆ 交流活動を通じて着付けを教えたが、言語が違うのでコミュニケーションを取るのが難しいと感じました。しかし日本の文化を楽しんでくれている姿を見ることができて、一生懸命教えて良かったと思いました。通訳の方に教えていただいた中国語で「似合っています」と言った時、すごく感動してくれて「ありがとう」と言ってくれた時に、言葉が通じ合うことで心まで通じ合えた気がしました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 <p>2023年10月18日 22:10</p>	 <p>2023年10月18日 20:31</p>
<p>2023年10月18日（WeChat） 学校交流に関するSNS発信</p>	<p>2023年10月18日（WeChat） 飯野地区ホームビジットに関する発信</p>

还是日本捏
中山道、



2023年10月19日 11:22



2023年10月19日 (WeChat)
馬籠地区参観に関する SNS 発信

2023年10月21日 (山形新聞)
「ランチに授業 会話弾む」
歓迎会セレモニーや英語授業、華道体験などを通じて交流を行った内容について紹介

中国高校生訪問団が本校を訪問しました

令和5年10月19日(木)に、外務省の推進する交流プログラム「JENESTS」の一環で訪日中の中国高校生訪問団が、本校を訪問しました。
来校したのは、西安交通大学附属中学、陝西省西安中学に在籍する高校2年生30名。歓迎セレモニー、ランチ交流会、交流授業(英語、調理実習)、日本文化体験(華曲、華道)、送別セレモニー等で交流を図りました。
生徒の感想と共に、交流の様子をお知らせします。

歓迎セレモニー



- ◆歓迎セレモニーでは日本の文化に触れてもらい楽しさを伝えられた。中国と日本お互いの文化や生活の様子を交換できて貴重な経験で、新鮮な一日だった。
- ◆華道パフォーマンスでは、完成した際の中国の高校生の歓声が今までで一番大きく、喜んでくれて本当に嬉しかった。

ランチ交流会



- ◆ランチ交流会において初対面で非常に緊張したが、普段なかなか交流することのできない中国の高校生と、互いに自国の文化、伝統、流行について話せてすごく楽しかった。貴重な体験でした
- ◆中国の方との交流は初めてでも新鮮だった。英語を通して他国の人と関わることに感動し、英語の魅力を再認識した。今以上に英語の勉強に力をいれたい。

交流授業(英語・調理実習)



- ◆今回の交流を私は忘れたい。将来、国外の人々と関わる仕事に就きたいという思いをより強くした。国外に興味をもつきっかけとして、今後もこのような交流が嬉しい。
- ◆中国の方々は反応もよく、華道のプレゼンにも熱心に聞いてくれた。私達がどれだけ持ち帰ってきた十分伝わったと思う。仲良くなりたいたいという彼らの思いも伝わってきて嬉しかった。

日本文化交流(華曲・華道)



- ◆これまでは、国際交流に全く興味なかったが、今回の期間で興味が湧き、英語を話せるようになって、海外に就職し現地の人と様々な交流してみたいと強く思った。将来の夢の幅も広がった。
- ◆初めて同年代の外国人と関わる体験で、普段の生活では味わえない多くの刺激を得た。苦手な英語を使って身振り手振りでも何とか意思の疎通ができた。来年3月の台湾研修旅行が不安で仕方なかったが、自信になり楽しみのようになった。

送別セレモニー



2023年10月21日 (山形県立山形西高等学校)

「中国高校生訪問団が本校を訪問しました」
歓迎セレモニーから送迎セレモニーまでの交流内容の様子を学生の感想と紹介

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

第1分団（訪問地：山形県）

<p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳格さと礼儀正しさのある日本の雰囲気 に感銘を受けた ・ ゴミの分別の徹底が日常生活に浸透して いる <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化の独特な魅力を感じ、今後も高 い理想を持った日本人の皆さんと協力して 文化交流を促進し、両国間の友好関係を深 め、機会や課題に共に立ち向かっていき たい <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスメイトや友人たちと経験を共有 し、彼らに本当の日本を見せて偏見を取り 除き、協力を促進するとともに、今後も中 国と日本の文化の起源を探究し、日本社会 の利点から学んでいく ・ 過去数年間から将来の進歩に向けた勢い を引き出し、それによって両国の共同発展 を促進する 	<p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧な接客や挨拶がとても印象に残った ・ 学校交流での笑顔、感嘆の声のひとつひ とつから、本当の日本と日本人を深く理解 し、固定観念を捨て、中国と日本の違いが 進化しているとお互いの長所と短所を感じ た <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人が独自の伝統文化を継承している ことから、私たちは学習において地元の伝統 文化を重視するようになり、今後の学習や生 活において中国の歴史と中国の伝統文化を 積極的に学び、文化的自信を強めるべき <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人の革新と勤勉さを重視する姿勢か ら学び、祖国の建設にさらに努力する
---	---

第2分団（訪問地：愛知県・岐阜県）

<p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国と日本は異なる国だが、どちらも独自の輝かしい素晴らしい文化、独自の風習があり、また、さまざまなスキルを持つ熟練した職人がいる <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国と日本の学生が世界と未来に対して同じビジョンを持っているという誠実さを実感した ・ この旅行は私たちに素晴らしい思い出を残しただけでなく、国際的にコミュニケーションをとる際に注意すべきことを学び、国際的な考え方を理解することができた <p>【アクション・プラン】</p>	<p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「お互いを理解し合えば、もっと仲良くなれる」セミナーで、この一文が、今回の旅を通して本当に貫かれていた <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの場所を訪れましたが、一番驚いたのは、日本の伝統文化と現代テクノロジーの融合 ・ 同じ長い歴史を持つ国として、中国と日本はこの革新的な方法で自国の文化を世界に広め、共同で世界文化の繁栄を創造できると私は信じている <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両国の共同努力により、中日関係は引き続
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・このような考えを日常生活や国際交流活動に応用し、異文化と接する際には違いを尊重しながら共通点を探り、違いに対して敬意と寛容の心を持って接し、国際交流活動に取り組む ・同時に文化的信頼を高め、中国の物語をより良く伝え、中国の声を広める 	<p>き強化され、アジアと世界の平和と発展に向けて協力していくと考えられる。これは高校生であり、中国人であり、人類運命共同体に参加している者として行動していく</p>
--	---

第3分団（訪問地：宮崎県）

<p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のごみの分別、人の謙虚さと素朴さ、学問には文武両道の努力、不屈の精神と不屈の闘志等、社会文化に触れ感動した ・日本社会に比べ私たちはスピードと効率だけを追求し、学生は過去問を解くばかり、社会人は仕事をするだけの生活を送っている人がグローバル化とはスピードを追求し、自分の進路を大切にすることだと短絡的に考えている <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶え間ない自己改善は常に中国人の精神的伝統であったが、閉鎖の努力は世界に遅れる運命に陥る。現代史は私たちに深い教訓を教えてくれた <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代に国家の復興という大きな使命を担う中国の若者として、私たちは世界とつながっていかなければならない。外に出て世界と触れ合うことによって、世界と歩調を合わせる、あるいは世界を先取りするスピードを身につけることが大切 	<p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県の自然に対する深く本物の敬意、綾エコパークのわびさびがもたらす成長、人と自然との調和、高校生たちの若々しい活力に対する地域住民の素朴な敬意、郷土料理の満足感、スタッフのおもてなしと熱意、細胞レベルまで日本文化を味わった <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは継続的な文化交流を促進することを考えるべき <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の声に耳を傾け、精神的な合意形成に努め、異国との知り合いから相互理解まで、自国の文化を踏まえたコミュニケーション内容を深めていく対外広報を強化する
---	--

実施団体名：イオンコンパス株式会社